

金町といえば「取水塔」と思い出すほど、これも有名な風景です。俗に「三角帽子の取水塔」といわれています。江戸川から土手を挟んで、反対側の浄水場に水をひくための単なる水道設備なのですが、なぜか絵になります。特に江戸川の土手に野の花が咲く春は、写真やスケッチを楽しむ人が目立ちます。かつて「金町浄水場の水は日本一まずい」といわれていましたが、今はちがいます。上水道の浄化技術が飛躍的に向上し、東京の水道水もずいぶんおいしくなりました。



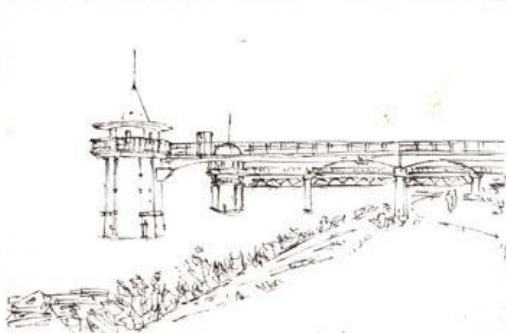
これが完成した絵です



1、土手のゆるやかな輪郭線、雑草を描きます。手前の取水塔の下部も描いておきましょう



4、空から塗ります。空はまず水でぬらして、それが乾かないうちに、雲を避けて塗っていきます



2、取水塔同士の微妙な重なり具合をよく見ながら、慎重に描きます



5、主題は取水塔ですが、最初から立体感を出そうとせず、最初は面的に塗って、乾くのを待ちます



3、最後に対岸の風景、取水塔の水面への反映も、少し描いておきます



6、取水塔の左側に影をつけ、更に水面に濃く影を入れて、立体感を出しましょう。土手は実際よりも花一杯にしました